●指導の実際

- ①「導入」 震災の関連資料から事前アンケートに進むことで、教材の内容に興味や関心をもたせました。
- ②「展開」 思考ツールを活用することで、命について、様々な視点から考えさせました。
- ③「終末」 教師の説話によって,「自助・共助」を実現することのよさについて確認し, 今後の学びにつ なげました。

【導入】事前アンケートの活用

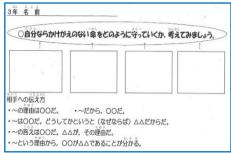
【展開】多面的・多角的な視点で 考えさせるための工夫



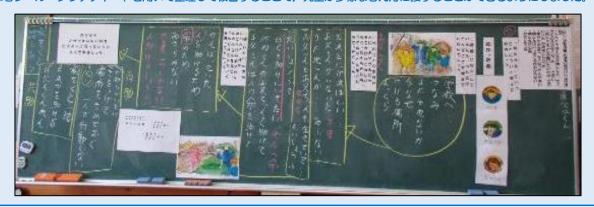
知ってはいるが、 他の地域での出来事 であり, 自分事とし て考えられていない 実態がある。

だれと逃げればいいのか,不安だ ったと思う。自分だったら…。





思考ツール クラゲチャートを用いて整理して板書することで、児童が多様な考え方に接することができるようにしました。



「自分ならかけがえのない命をどう守るか」についての児童の発言を自助と共助に分類しました。

- ・危険な行動をしないようにしたい。避難する場所を決めておきたい。【自助】
- ・命を守れるように避難訓練を真剣にしたい。だれかを助けることができるなら助けたい。【共助】

成果と課題

- 指導計画を教科等横断的な視点で作成することで、その後の各教科等の授業でも自分の 命や他の人の命を守ることの尊さを考えることができた。
- 「命を守るために何を学ぶか」だけでなく、「命を守るために何ができるようになるか」 ○課題 という道徳的実践へとつながるように、目指す資質・能力を明確に設定して指導にあた ることが必要である。